



須賀川市立小塩江中学校の教育

令和6年度 小塩江中学校 経営・運営ビジョン

【教育目標】
進取・友愛・健康

《県中教育事務所指導の重点》 「ゆめ」「願い」がかなう教育の推進
《須賀川市教育委員会の学校教育目標》 変化の大きい社会に的確に対応できる「生きぬく力」を育む

《保護者の願い》 学力向上のためにわかる授業をしてほしい 自己表現力を高めてほしい
生徒個々に応じた指導や援助をしてほしい



学校経営の理念 ～生徒一人ひとりの「夢」の実現に向けて支援する学校(SDGsを踏まえて)～

学校経営の基本方針 学校の主役は生徒。その生徒に「夢」を持たせ、「夢」を育て、「理想」へと導くのは私たち教職員であることを自覚し、生徒一人ひとりのつまずきや成長に合わせた「個別最適な学び」と「個に応じた指導」を柱に様々な諸課題解決に努め、「生徒の学ぶ権利を保障し、生徒・保護者・地域から信頼される持続可能な学校」づくりを進める。

- ①教職員の組織力を生かし、生徒中心の学校経営をする。(学校経営の目標)
- ②喜びと充実感のある学校生活を推進する。(教育活動の目標)
- ③落ち着きとうるおいのある教育環境を整える。(教育環境の目標)
- ④家庭・地域社会との連携を密にし、開かれた学校づくりに努める。(地域社会との連携)
- ⑤絶えず研修に励み、使命感にあふれた教師像を追求する。(教師としての専門性の追求)
- ⑥教育公務員としての自覚にあふれた、規律ある服務・勤務に努める。(教師としての信頼性の確立)

今年度の取組と指標目標

「小塩江SUNSUNフロン」
・小塩江プロジェクト
・小塩江SDGsプロジェクト
・小塩江不登校対策・支援プロジェクト

進取：すすんで学びあう生徒

〈自ら学びに励む〉



《今年度の取り組み》

- ① 少人数の特性を生かし、生徒一人一人に個に応じた指導の徹底を図る。(各教科担当)
- ② 個別最適な学習をめざして、生徒一人一人の実態を把握し、協同的な学習とタブレットの活用に努め、学力を高めるための効果的な授業を展開する。(現職教育・各教科担当)
- ③ 学習コンクール(5教科)を実施し、生徒一人一人の学習意欲を喚起させるとともに、基礎の定着を図る。(全職員)
- ④ 生徒一人一人の個性や能力を伸ばすために、本市施策との関連を図りながら小中一貫教育の推進を図る。(全職員)
- ⑤ 学習相談を充実させたり、家庭との連携を図ったりしながら、生徒一人一人に家庭学習が習慣化するように支援する。(学級担任・各教科)
- ⑥ 進路指導を充実させ、生徒一人一人が主体的に進路を選択できるよう支援する。(全職員)
- ⑦ 質の高い授業を創造するため、校内研修を中核として日常的に授業の改善・充実を図る。(現職教育・全職員)

指標	○ 学力テスト数値目標(県平均超と個の伸長)
目標	○ 学習コンクール(5教科)満点者(3割超)
	○ 家庭学習の定着(自主学習ノート指導)
	○ 小中一貫教育の一層の推進(本市施策の励行)
	○ 文化関係コンクールへの積極的参加 ○ キャリア教育の充実
	○ 校内研修の充実(研究授業・互見授業)

友愛：親切で協力する生徒

〈自他を大切にする〉



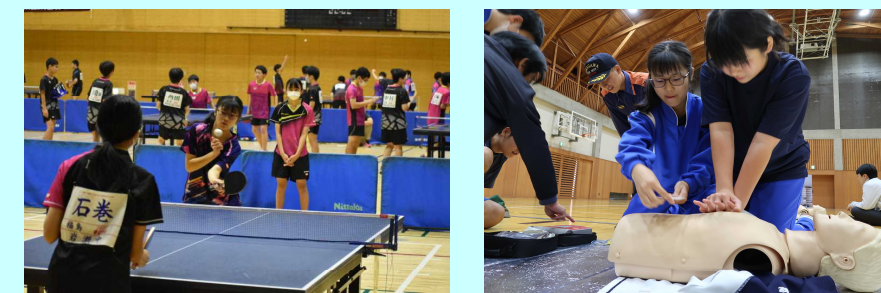
《今年度の取り組み》

- ① 温かい人間関係(職員と生徒・生徒間)の中で生徒一人一人に居場所があり、自他を大切にすることができるよう豊かな心を育てる。(全職員)
- ② 全校生徒による活動や縦割り班を有効に活用し、学校生活全般ととして生徒一人一人に規律や協調性などの社会性と自主・自律、自己表現力を育てる。(全職員・担当職員)
- ③ 道徳の授業の充実を図り、生徒一人一人の道徳的価値に基づいた人としてのよりよい生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育てる。(担任)
- ④ 「生活記録ノート」を活用し、継続的な指導・支援をととして生徒一人一人が自己を見つめ、よさや可能性に気づくことができるようにする。(担任)
- ⑤ 生徒会活動・ボランティア活動を通して、生徒一人一人の奉仕の精神を育てる。(全職員)
- ⑥ 学級活動の充実を図り、生徒一人一人のよりよい学校生活、友人関係を構築する。(担任)

指標	○ 協同学習の充実・縦割り班活動の充実
目標	○ 「私たちの道徳」の計画的な活用
	○ 生徒会・学級活動の充実(一人一役)
	○ いじめ撲滅(定期的にいじめ調査実施、いじめゼロ)
	○ 「生活記録ノート」を通して生徒理解
	○ 読書活動推進(無読者の解消)

健康：心身を鍛え根気強い生徒

〈自己を高める〉



《今年度の取り組み》

- ① 生徒一人一人の心身の健康について、自己管理意識と実践力を高める。(保体・養教・全職員)
- ② 生徒一人一人の心に響く生徒指導・教育相談に真摯に取り組む。情報を共有化し、生徒一人一人を大切にしながら、信頼関係を深める。(全職員)
- ③ 生徒一人一人の体力・運動能力の実態を分析し、改善策や向上策を明確にして、計画的に運動能力を高める。(保体科)
- ④ 体力づくり(5周走、リズムなわとびや筋力トレーニング)を継続して実施し、生徒一人一人の体力の向上を図る。(保体科・担任)
- ⑤ 食育・給食・性・薬物・喫煙等に関する指導を通して、生徒一人一人の心身の健康の維持・向上に対する気持ちと実践力を育てる。(教科・養教・担任)
- ⑥ 生徒一人一人の人的災害・自然災害への危険予知力・危険回避力を高める。(安全指導係・全職員)
- ⑦ 部活動のよりよいあり方を模索しつつ積極的参加を奨励し、生徒一人一人の心身の健康増進及び技能の向上を図る。(顧問・担任)

指標	○ むし歯治療済生徒・むし歯「無し」生徒の比率(80%超)
目標	○ 不登校生徒への適切な対応(新たな不登校生徒ゼロ)
	○ 交通事故防止・不審者対応(適時、啓蒙啓発指導の徹底)
	○ 走力の向上(自己目標達成)
	○ 体力づくりの実施(年間を通して実施)
	○ 部活動への積極的参加(野球・バドミントン・陸上・バスケット)